

第 31 回 国立研究開発法人防災科学技術研究所契約監視委員会議事概要

I 日時 令和 5 年 11 月 7 日（火）14：30～15：50

II 場所 防災科学技術研究所 東京会議室
（東京都港区西新橋 2 丁目 3 番 1 号 マークライト虎ノ門 6 階 602 室）

III 出席者

委 員 長 田中 徳夫（岩田合同法律事務所 弁護士）
委員長代理 山内 喜明（山内喜明法律事務所 弁護士）
委 員 品田 和之（品田公認会計士事務所 公認会計士）
委 員 小杉 健二（国立研究開発法人防災科学技術研究所 監事）
委 員 神野 紀恵（国立研究開発法人防災科学技術研究所 監事）

IV 議題

- (1) 第 30 回契約監視委員会議事概要（案）について
- (2) 令和 5 年度調達等合理化計画の取組状況について（上期）
- (3) 令和 5 年度調達等合理化計画に基づく理事長が定める基準の取組状況について（上期）
- (4) 令和 5 年度契約審査委員会及び随意契約検証チームによる点検の実施状況について（上期）
- (5) その他

V 議事概要

- (1) 前回開催した委員会の議事概要について、確認がなされた。
- (2) 令和 5 年度調達等合理化計画の取組状況について（上期）
契約課より、令和 5 年度上期の調達等合理化計画の取組状況について説明があった。委員より、一括調達契約の推進に関する数値目標の設定について質問があり、契約課より説明があった。
- (3) 令和 5 年度調達等合理化計画に基づく理事長が定める基準の取組状況について（上期）
契約課より、令和 5 年度上期の調達等合理化計画に基づく取組状況について説明があった。令和 5 年度は中長期計画の初年度にあたり、これまで随意契約であった「深層地震観測施設等機械警備」契約について、初期コストを含め複数年契約の調達をかけた結果、一者応札となったが、複数年契約の入札として新規で実施したことの紹介があった。
- (4) 令和 5 年度契約審査委員会及び随意契約検証チームによる点検の実施状況について（上期）
契約課より、令和 5 年度上期の契約審査委員会及び随意契約検証チームによる点検の実施状況について説明があった。委員より、契約審査委員会と随意契約検証チームの審議事項等の違いに関して確認があった。契約課より説明

があり、今後、その旨を当該資料の冒頭等へ記載することとなった。また、資料が複数あり複雑であることから、次回以降、より見やすい資料準備の要望があった。

(5) その他

- ・令和5年度上期に新規に締結した契約の点検

契約課より、令和5年度上期に新規に締結した契約のうち、3件について説明があった。

委員より、「入札から契約までの期間」について質問があった。契約課より、入札と契約が同日で行われる場合と、期間が必要な場合について説明があった。

委員より、「辞退者アンケートの実施の有無」の実施状況に関して確認があり、契約課より、任意回答ではあるが辞退者全員へアンケート回答を依頼していることの説明があり、1年分の回答状況に関して、次回委員会において、説明することとなった。

委員より、随意契約検証チームで、随意契約は適さないのではという議論がなされた案件があれば、教えてほしい旨の希望があり、次回委員会において、事例を挙げて説明を行うこととなった。また、不作為に抽出した契約案件の点検を今後も継続して実施するとともに、研究所としての新たな取組や大幅な変更点等ある場合は紹介して欲しい旨要望があった。

- ・競争性のない随意契約の割合(件数)、1者応札・応募の割合(件数)

契約課より、競争性のない随意契約の割合、1者応札・応募の割合について、他法人の随意契約等の状況も含め、説明があり、確認がなされた。

(6) 事務局より、次回の開催を令和6年6月頃に行いたいと提案し、了承された。